

ダイニング・テラスと一体化する パーティ対応のキッチン

友人を招いてのパーティをよくひらくとのことで、独立したダイニングキッチンのある間取りとしている。キッチンは、複数が同時に作業できる広さを確保し、みんなで料理を楽しみながらテーブルを囲む。DKは庭に面したテラスとも一体化する。くつろぎの場としてのDKがあるため、高い吹抜けをもつリビングは「家族の間」とでもいうような、もう一つのくつろぎの場となる。



ダイニングからキッチンを見る。正面のハイサイドライトの上から勾配天井が昇っていく(撮影：平井広行)

ハイサイドライトからの光

キッチン上部は低い吹抜けとなっており、西側に設けたハイサイドライトからの光が天井面を照らし、DKをより明るく空間とする

クロゼット経由の動線

主寝室には、書斎から入る動線とクロゼット経由の動線の2ルートを用意。外出時や就寝前など、状況に応じて水廻りへの向かい方に幅をもたせる

みんなで楽しむ

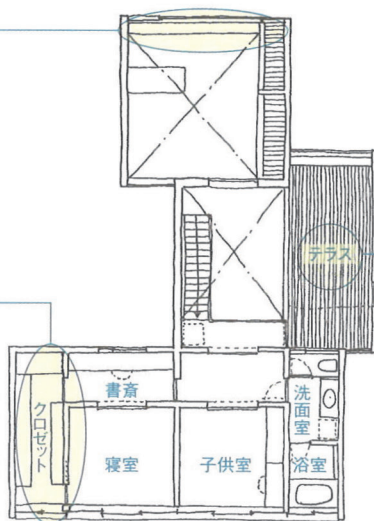
複数が同時に作業できるスペースを確保したキッチンと、テラスと一体化するダイニングで、食事を中心としたパーティを楽しめるようになっている



リビングから見た中庭(撮影：平井広行)

庭を楽しむ

主庭は、DK側、L側、道路側と3方向から楽しむことが可能。道路からは、ガレージ越しに緑が見えて、町に潤いを与える



2F
1:250

プライベートテラス

北側にある実家の庭の日当たりを阻害しないよう、ここには部屋を置かず、プライベートテラスを配している。風呂上がりの一服などのほか、実家との接点にもなる

実家に向かう勝手口

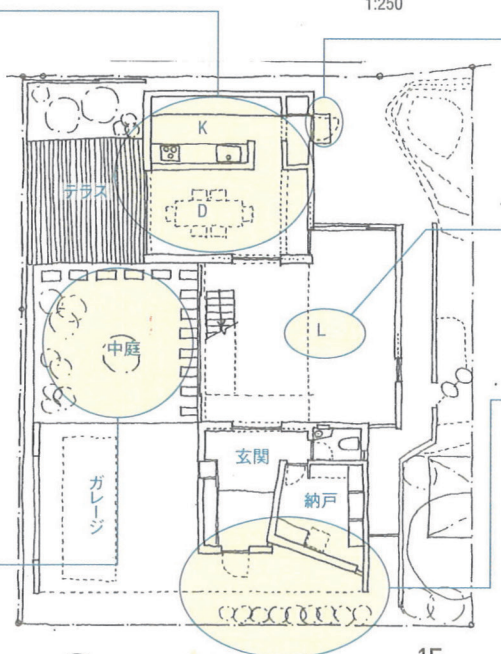
北側の実家と直接視線が交錯しないよう、北側の開口部は絞られているが、この勝手口を通じて気楽に行き来することができる

家族の間として

独立したDKとは別のくつろぎの場として、家族が集まるスペース。主庭を正面に眺め、2階ホールともつながる吹抜けの大空間

視線と意識を導く

玄関部分を境界線から少し奥まっけて置き、壁を一部斜めにすることで、視線や意識を内部に導く。玄関前には植え込みをつくり、不用意に立ち入ることは防がれる



1F
1:250

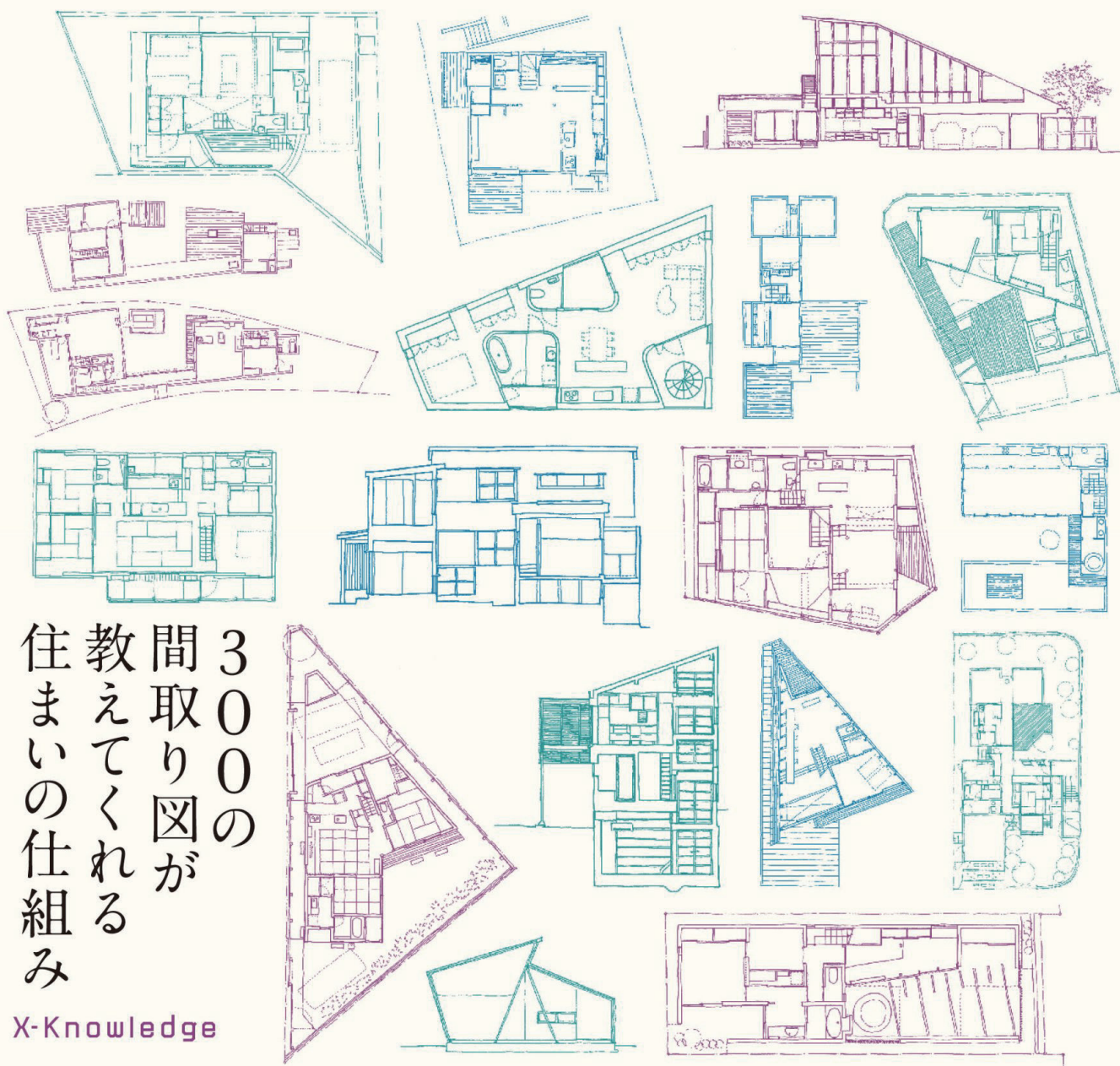
敷地面積/264.47㎡ 延床面積/154.56㎡
設計/矢板建築設計研究所
名称/下井草の家



道路側外観(撮影：平井広行)

最高にステキな [間取り]の図鑑

編著=ザ・ハウス



300の
間取り図が
教えてくれる
住まいの仕組み

X-Knowledge